



Japan Prize

The Japan Prize Foundation

Laureates

平成記念研究助成

ビデオ

イベント



平成記念研究助成

2027年「平成記念研究助成」募集要項

現在、世界的に見て、これまでに遭遇したことのない、さまざまな新しい社会的課題が出現しています。それらの課題の解決には、単一の専門領域から、各分野の細分化が進み過ぎ、専門領域を超えた知識の集約を困難にする状況が生まれていることを憂慮します。現代の諸課題の解決には、多様な考えを検討し、自由な発想のアイデアを出し合い、力を合わせて知の連結を成し遂げていかねばなりません。そのような風土の醸成を促進していくために、我々の目指したい世界を思い描き、解決したい課題を提示するとともに、人文・社会系、理工学系を問わず、各々の知見を持ち寄って、協働して解決に取り考えます。そのような挑戦の中から、次世代を拓く新しい学問分野が生まれてくることを期待します。

「平成記念研究助成」では、今後目指すべき世界を実現するために、短期間の解決に至らずとも先端的で社会的にインパクトのある研究提案と、様々なイネートできる若手人材の発掘に努めます。

公益財団法人国際科学技術財団では、2006年から、毎年の日本国際賞の授賞対象2分野において、若手研究者の研究スタートを支援する助成制度を行ってまいり、2020年度よりこの制度を一新し、若い研究者の従来枠にとらわれない挑戦、新しい展開・発展での研究を大いに奨励し、その助成を行ってまいり。

「平成記念研究助成」は、永年、若手科学者の研究活動にご関心を寄せられ、激励されてこられた上皇上皇后両陛下にちなんで命名されたものです。

1. 助成対象

「社会的課題の解決に資するための知識統合・連携型研究」を広く募集します。

- 理系、文系を問わず応募が可能です。
- 応募者自らが考える「目指したい世界とその実現に向けた課題」を提示してください。
- 科学技術や人文・社会科学等の専門分野を超える人達の国際的な連携をエンカレッジします。
- 文化・芸術分野との融合や、医学、農学分野の提案も期待します。

2. 応募資格

- (1) 年齢制限はありませんが、45歳程度までの人材の発掘を考えています。
- (2) 個人あるいは少人数のグループの提案を奨励します。
- (3) 国内の大学、公的機関、企業、市民組織等に所属し、助成期間を通じ当該研究を継続できること。
- (4) 研究担当者は所属組織の長（学科長、学部長、研究所長等）の承認を受けること。同一組織から複数課題の応募可。

3. 助成件数及び助成金額

1件500万円～1000万円程度 4～8件程度

4. 助成金の使途

- 助成金は、研究代表者及び共同研究者の研究の推進に必要な費用に充ててください。
- 所属機関へ支払う間接経費やオーバーヘッドについては、各機関の規定に従い、免除が可能な場合は、必要に応じて所属機関内で手続きを行って

5. 助成期間

1年間（2027年4月～2028年3月）（ただし年度繰り越し可能）

6. 日程

募集期間	2026年5月～7月31日
書類審査	2026年9月 当財団より合格者にメールで通知
プレゼン映像審査	2026年10月 書類審査合格者のみ
面接審査	2026年12月 プレゼン映像審査合格者のみ
決定と通知	2027年3月 当財団理事会にて決定後、本人に郵便で通知
交流会	2027年 夏 別途日程調整の上、東京にて実施予定

7. 提出書類 「2027年平成記念研究助成 応募申請書」

- 提出期限：7月31日
- 応募申請書：[こちら](#)からダウンロードしてください。
- 提出書類：
 - (1) 押印前の応募申請書（電子媒体（MS-WORD））
 - (2) 押印後の応募申請書（電子媒体（PDF））
 - (3) 参考資料1（電子媒体（PDF）、研究者ごと）
 - (4) 参考資料2（電子媒体（PDF））
- 提出先：kenkyujosei@japanprize.jp

8. 書類審査通過後のプレゼン映像の提出

書類審査合格者には、応募者が考える、国際的な視点を踏まえた「目指したい世界とその実現に向けた課題」について、一般の方でも理解できる5分程でいただきます。提出方法等、詳細については書類審査合格通知後に連絡します。

9. 選考基準

- (1) 目指したい世界とその実現に向けた課題の設定は妥当か
- (2) 課題解決に正面から取り組んでいるか
- (3) 研究成果は課題の解決に資すると考えられるか
- (4) 予算の使途は適正か

10. 助成金受領者の義務

- (1) 進捗報告書（年度末）（当財団指定のフォーマット）
- (2) 予算使用状況の報告（年度末）（既存資料の提出で可）
- (3) 論文等の研究成果発表には当財団から研究助成を受けた旨を明記すること

11. 財団活動への協力

- 啓発活動の一環として主に中高生向けに開催される「やさしい科学技術セミナー」への協力をお願いすることがあります。
- 当財団開催の交流会にて助成金受領者間で情報交換をお願いすることがあります。

12. 助成金の振込みについて

所属機関所定の「寄附申込書」または「振込依頼書」を提出ください。

13. その他

申請書に記載いただいた個人情報は、当財団のプライバシーポリシーに則り、厳正に管理します。

https://www.japanprize.jp/privacy_policy.htmlを参照ください。

14. 問合せ先

〒107-6035 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル イーストウィング35階

公益財団法人国際科学技術財団 平成記念研究助成係

E-mail : kenkyujosei@japanprize.jp

Tel : 03-5545-0551 Fax : 03-5545-0554

Japan Prize	The Japan Prize Foundation	研究助成	ビデオ
Japan Prizeとは	財団概要	平成記念研究助成について	ビデオ
閣議了解（設立の経緯）	ご挨拶	研究助成募集要項	YouTube
賞状・賞牌	事業概要	研究助成一覧	
Japan Prizeの審査方法	沿革	選考委員会	Press
審査委員会	情報公開		2026 Japan P
授賞対象分野	出版物一覧	イベント	ファクトシー
分野検討委員会	役員名簿	イベントについて	プレスキット
推薦者ログイン		参加お申込み、各種手続き	プレスリリース
		ビデオ配信	ロゴ、メダル
Laureates		イベント一覧	フォトライブ
年代別歴代受賞者		よくある質問	ビデオライブ
検索して探す		セキュリティについて	出版物

[サイトマップ](#) [お問い合わせ](#) [アクセスマップ](#) [プライバシーポリシー](#)

© 2026 Copyright is reserved by The Japan Prize Foundation